



ポストコロナ時代に向けて 一般会計当初予算

質の高い社会経済の実現 242億4,100万円

対前年度比
8.2%減

市民1人当たりの予算額にすると**80万2,124円** (対前年度比△5万3,857円)

総務費 15万3,679円 <small>(対前年度3万1,016円の減)</small> <small>地域振興やふるさと納税返礼品など</small>	民生費 22万5,935円 <small>(対前年度5,916円の減)</small> <small>高齢者や児童の福祉など</small>	衛生費 8万9,655円 <small>(対前年度1万1,074円の増)</small> <small>ごみ・尿処理や病気予防など</small>	農林水産業費 5万3,351円 <small>(対前年度7,625円の減)</small> <small>農林水産業の振興など</small>	商工費 2万6,035円 <small>(対前年度6,304円の減)</small> <small>商工、観光の振興など</small>
土木費 4万2,558円 <small>(対前年度1万660円の減)</small> <small>道路、住宅の整備など</small>	消防費 3万8,350円 <small>(対前年度580円の増)</small> <small>消防、防災対策など</small>	教育費 6万5,501円 <small>(対前年度369円の減)</small> <small>学校や図書館、文化振興など</small>	公債費 9万3,496円 <small>(対前年度1,579円の増)</small> <small>借入金の返済</small>	その他 1万3,564円 <small>(対前年度5,204円の減)</small> <small>議会運営、災害復旧など</small>

※人口30,221人(令和3年3月1日現在)で計算

特別会計 102億4,763万円 (対前年度比0.6%増)

国民健康保険や農業集落排水事業など事業目的を限定し、保険料や使用料など、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計と区別した会計です。

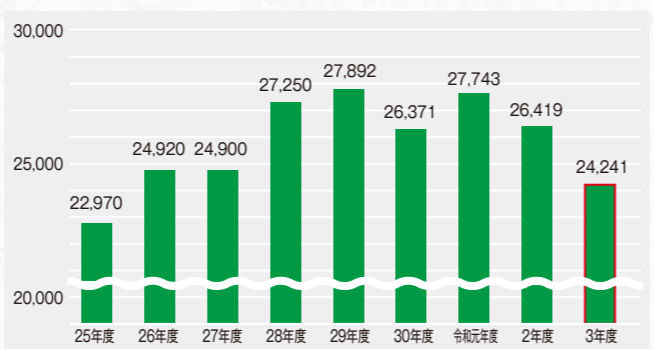
会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	51億3,117万円	3.1%
後期高齢者医療	4億7,122万円	3.1%
介護保険	46億571万円	△1.3%
農業集落排水事業	1,278万円	4.1%
宅地開発事業	681万円	△0.3%
あづち大島いさりびの里事業	1,474万円	16.8%
駐車場事業	521万円	10.8%
工業団地事業	事業廃止	皆減

企業会計 47億7,035万円 (対前年度比1.0%増)

地方公共団体の行う事業のうち、民間企業のようにその事業の収益で経費を賄って事業経営を行う会計です。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	18億9,620万円	8.8%
病院事業	26億850万円	△4.1%
交通船事業	2億6,565万円	2.5%

当初予算額の推移(百万円)



令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、各種事業の見直しや予算の重点化を図り、令和2年度と比較すると歳入歳出総額は21億7,800万円減少しています。

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の停滞に伴う市税の減少や本市の歳入の約4割を占める地方交付税の縮減などで、一層厳しい財政運営が予想されます。このことから、引き続き徹底した既存事業の見直しや、遊休資産の売却促進、積極的な市債の繰上償還などさらなる財政健全化を図り、市民サービス向上のため捻出された財源を活用しながら、「夢あふれる未来のまち平戸」に向かって取り組んでいきます。

「脱コロナ元年」と位置づけ、より効果的な事業へ配分

令和3年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症が完全に終息しない中ではありませんが、ポストコロナ時代の「新たな日常」を見据えた、質の高い社会経済の実現を目指す「脱コロナ元年」と位置づけ、活力ある地域経済を取り戻すことができるよう、より効果的な事業の取捨選択を行い、予算配分を行いました。今回は、その中でも主要な事業について紹介します。

▼歳入について

新型コロナウイルス感染症の影響による市税の減少、合併代替の終了に伴う地方交付税の減少を見込みました。依存財源においては、投資的経費の減少に伴う国庫支出金の減額や、合併特例債発行の終了による大幅な市債の減額を見込んでいます。

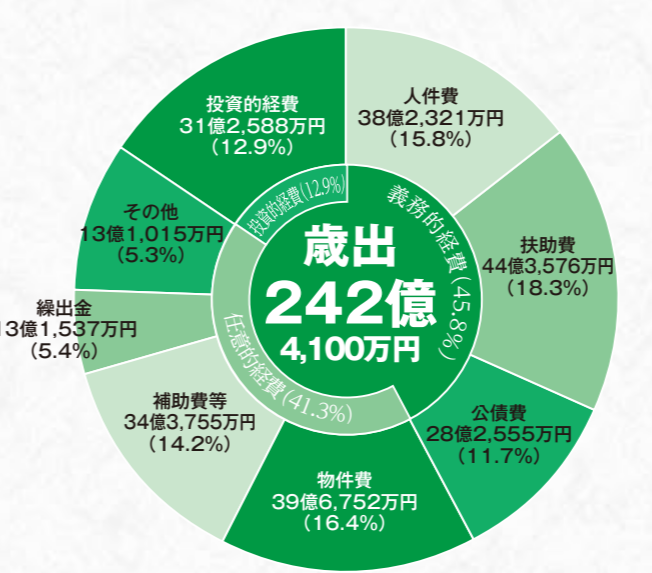
結果的に、市税などの自主財源は全体の24.4%、地方交付税などの依存財源は75.6%を占めており、地方交付税などに大きく依存した財政構造となっています。

▼歳出について

平戸城大規模改修や消防署生月出張所の整備など大型建設事業の終了、国庫補助の減額、さらに令和2年度に前倒して事業を実施したことなどにより投資的経費が対前年度比22.8%減の約9億2,400万円減少しています。これにより投資的経費の割合は全体の12.9%となりました。

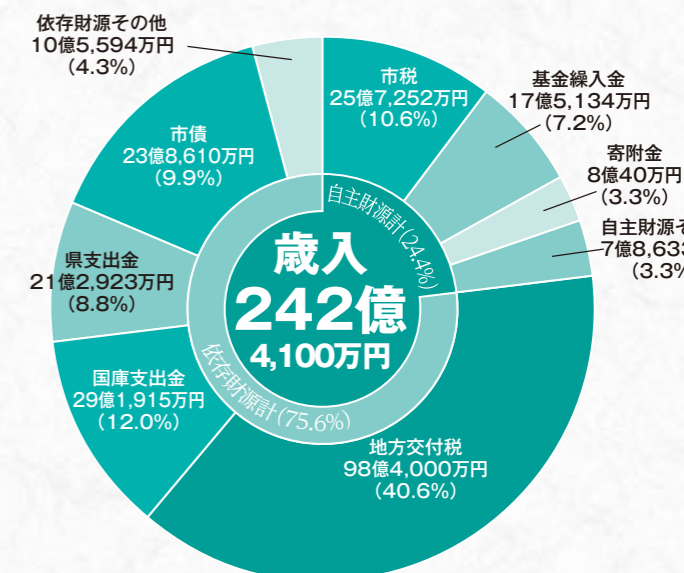
一方、扶助費や人件費を含む義務的経費の割合は45.8%で、対前年度比1.1%減の約1億2,100万円の減少の見込みとなりました。

歳出の状況(性質別)



- 義務的経費** 市が支出することが制度的に義務づけられている経費(110億8,452万円)
- 任意の経費** 市が任意に支出できる経費(100億3,059万円)
- 投資的経費** 道路や施設など、支出の効果が将来に残るものに支出される経費(31億2,588万円)

歳入の状況



- 自主財源** 自主的に調達できる財源(59億1,058万円)
 - 依存財源** 国又は都道府県から交付される収入(183億3,042万円)
- ※各項目の金額は単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

新型コロナウイルス感染症対策事業

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として「市民の健康で清潔な暮らし実現の加速化」「ICTなどの活用促進によるライフスタイルおよび産業形態の変化への積極対応」「移住先には選ばれる受け入れ態勢の構築」の3つを重点的に支援していきます。

市民の健康で清潔な暮らし実現の加速化

学校保健特別対策事業

1,004万円

感染症対策に要する市内小中学校でのアルコール消毒剤や検温機器の購入など保健衛生用品の整備



ICTなどの活用促進によるライフスタイルおよび産業形態の変化への積極対応

中小企業・小規模企業事業再編等促進支援事業

1,500万円

市内中小企業の事業再編に係る設備投資などに対する支援



平戸産品オンラインショッピングサイト構築事業

600万円

平戸産品を集めた、オンラインショッピングサイト構築経費



WEB公民館講座整備事業

226万円

リモートでの公民館講座開催のための環境整備



移住先には選ばれる受け入れ態勢の構築

オフィス開設支援事業

473万円

市外企業・個人に、市内の空家、空事務所を活用したオフィス開設に対する支援



集落の宝探し事業

450万円

市内各集落において魅力的な宝探しなどを通じた郷土愛の醸成



地域経済のための事業者への支援対策

事業継続支援給付金事業

2億3,891万円 ※令和2年度補正予算

感染症拡大防止に伴う県特別警戒警報の発令により影響を受けた事業者に対する事業継続のための給付金

事業者支援給付金事業3,660万円

感染症拡大により大きな影響を受けた宿泊事業者、貸切バス事業者に対し、資金繰りなど今後の事業継続を後押しするための事業全般に広く使用できる支援給付金の支給

漁協経営支援事業2,026万円

外食産業などの低迷により売上高が減少している市内漁協の事業継続を後押しするための生産・出荷・流通などに要する経費に対する補助

国の総合経済対策に応じて実施する事業 ※令和2年度補正予算

令和2年度における国の予算増額に伴い、令和3年度の事業を前倒して実施します。



南部中学校校舎大規模改修事業

3億7,871万円
児童に安全、安心な教育環境を整えるため、屋上防水および内部の大規模改修を実施



交付金道路整備事業

2億7,729万円
地域の幹線道路として重要な路線である市道の整備



水産生産基盤整備事業

3億150万円
漁獲物水揚げ拠点漁港である新獅子漁港「獅子地区」における、防波堤、岸壁などの整備

『ずっと住みたいまち』の創造に向かって

総合戦略では、「雇用の促進」「産業の振興」「子育て支援」「定住・移住の促進」の4つの基本目標を設定し、令和3年度はさらに予算の重点化を図りました。ここでは、第2期平戸市総合戦略に基づき、今年度実施する多くの事業の中から主要な事業を紹介します。

雇用の促進 — しごとをふやすプロジェクト —



▲創業支援セミナー

中小企業等設備投資関連支援事業

3,200万円
市内中小企業などの経営力強化や事業拡充に向けた設備投資に対する補助を行います。

地場企業就職促進事業

323万円
市内企業をPRし、若年層を中心に地元企業就職に繋げる合同企業面談会などを開催します。

産業の振興 — しごとをのばすプロジェクト —



▲志々伎町に移住し新規就農した乾史弥さん

平戸式もうかる農業実現支援事業

6,145万円
新規就農者の確保・育成対策や肉用牛の生産強化に対し補助を行います。

平戸城誘客対策プロモーション事業

3,500万円
平戸城および城泊に関する各種イベント、メディアなどを活用したPRを行います。

新水産業経営力強化事業

2,134万円
漁業者の所得向上のために必要な漁船用機器の整備などに対し補助を行います。

子育て支援 — ひとをそだてるプロジェクト —



▲学校でのICT機器を使った授業風景

地域子育て支援拠点事業

2,264万円
乳児や児童およびその保護者が互いに交流できる場所(ひろば)を開設し、子育て支援を実施します。

ICT教育環境整備事業

1,788万円
市内小中学校において、平戸市ICT教育ビジョンに基づいたICT機器を整備します。

定住・移住の促進 — まちをつくるプロジェクト —



▲木引田町にある仮暮らし体験住宅

コミュニティ推進事業

1億7,591万円
小学校単位を基本としたまちづくり運営協議会に交付金を交付し、地域住民主体のまちづくりを推進します。

移住定住環境整備事業

3,410万円
移住者や定住者の新規住宅取得などに対する補助や移住コーディネーターによる相談支援、仮暮らし体験住宅の提供を行い、移住定住を推進します。